

令和4年度 賛助会員名簿(敬称略)

❤️ ありがとうございました ❤️

〔個人会員〕

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 相田 哲 | 大原 峰夫 | 齋藤 和英 | 高橋 史明 | 丹羽 正之 |
| 青木 登志美 | 岡 俊幸 | 齋藤 恒利 | 高橋 駿介 | 庭山 昌俊 |
| 青木 信樹 | 岡田 義信 | 齊藤 正浩 | 高橋 姿 | 野田 和正 |
| 青木 朗子 | 小川 宏 | 酒井 信治 | 高橋 壮一郎 | 長谷川 伸 |
| 秋山 功 | 小堀 美智子 | 坂井 宏子 | 高橋 知義 | 早津 正文 |
| 秋山 政人 | 小田嶋 佑佳 | 寒河江 豊 | 高橋 龍一 | 早福 美夏帆 |
| 味岡 洋一 | 尾身 裕 | 笹川 力 | 滝川 康弘 | 東 智子 |
| 阿部 志郎 | 親松 学 | 笹嶋 真嵩 | 武内 廣盛 | 東后 康子 |
| 阿部 博史 | 笠原 至 | 佐藤 京子 | 武田 真紀子 | 百都 健 |
| 阿部 道行 | 片桐 正則 | 佐藤 詩乃 | 田崎 和之 | 広沢 圭子 |
| 新井 啓 | 片桐 幹雄 | 佐藤 順子 | 田尻 正記 | 深川 光俊 |
| 井浦 佐敏 | 加藤 花恵 | 佐藤 進一 | 田中 一 | 藤森 勝也 |
| 五十嵐 茂義 | 金井 秀樹 | 佐藤 宏明 | 田中 勝治 | 古川 恵理子 |
| 五十嵐 智理 | 金子 弘 | 佐藤 真理子 | 田中 利夫 | 星野 明子 |
| 五十嵐 文雄 | 金子 よう | 佐藤 幸示 | 田中 信明 | 細島 康宏 |
| 井口 清太郎 | 狩野 雅暉 | 嶋倉 瞬 | 玉井 章広 | 本間 俊栄 |
| 池野 弘康 | 上村 旭 | 島津 智子 | 土屋 俊晶 | 本間 智子 |
| 石川 久雄 | 川嶋 禎之 | 島田 久基 | 弦巻 恭太 | 町田 良介 |
| 石澤 成美 | 菅野 かつ恵 | 清水 浩 | 傳田 常雄 | 松浦 直人 |
| 石附 由美子 | 木村 庸了 | 下條 文武 | 戸枝 哲哉 | 松岡 尚気 |
| 和泉 徹 | 鯨岡 克法 | 真田 雅好 | 梶野 哲哉 | 松田 由紀夫 |
| 石動 政直 | 國井 敏夫 | 神保 和男 | 土佐 一裕 | 眞山 徹二 |
| 磯部 澄枝 | 國井 亮祐 | 新保 珠美 | 富山 順子 | 丸山 仁 |
| 逸見 幸恵 | 小飯塚 信仁 | 鈴木 麻依 | 永井 博子 | 武藤 謙介 |
| 伊藤 正一 | 小出 千枝 | 鈴木 榮一 | 中枝 智子 | 矢田 省吾 |
| 伊藤 雅章 | 伊藤 雅章 | 鈴木 大地 | 長尾 政之助 | 甲田 隆 |
| 井内 康夫 | 甲田 豊 | 鈴木 孝幸 | 中川 邦夫 | 山崎 理 |
| 福月 恵子 | 興松 建郎 | 鈴木 忠二 | 中川 圭子 | 山田 英夫 |
| 井上 重宏 | 小井 一 | 鈴木 俊明 | 中島 徹 | 山本 清司 |
| 今井 昭雄 | 小坂 正一 | 鈴木 美奈 | 中野 由紀 | 山本 卓 |
| 今村 円香 | 小島 美世 | 須田 武保 | 中村 勉 | 山本 智子 |
| 井本 昌子 | 小滝 はるか | 清田 義和 | 中山 均 | 横山 知行 |
| 植村 樹 | 児玉 省二 | 関田 悠満 | 中山 尚子 | 吉澤 豊久 |
| 牛山 辰男 | 小林 勲 | 関根 輝夫 | 梨本 篤 | 吉沢 浩志 |
| 内山 政二 | 小林 隆 | 関根 理 | 成澤 林太郎 | 吉澤 和哉 |
| 内山 幸夫 | 小林 卓也 | 関屋 啓太郎 | 成田 一衛 | 和田 迫代 |
| 浦邊 萌絵 | 小林 武郎 | 園田 裕久 | 難波 彰司 | 渡辺 静一 |
| 大越 章吾 | 小林 矩明 | 高井 慶治 | 難波 秀道 | 渡邊 二夫 |
| 大崎 直樹 | 小林 義昭 | 高木 顕 | 難波 みずき | |
| 大澤 豊 | 小松 雅美 | 高木 不退 | 西湯 良成 | |
| 大竹 勝巳 | 小山 圭介 | 高塚 尚和 | 西川 重光 | |
| 大塚 旭 | 齋藤 恵美 | 高橋 完明 | 西脇 京子 | |

〔寄付金〕

- | | | |
|--------|-------|----------------------|
| 青木 和恵 | 富樫 孝一 | 魚沼市立小出病院 |
| 荒川 敬 | 内藤 真 | 大関医院 |
| 五十嵐 茂義 | 中山 均 | こばやし内科クリニック |
| 石川 久雄 | 野口 武実 | 佐渡腎友会 |
| 岩谷 雅子 | 松岡 尚気 | 仁成会 |
| 遠藤 直人 | 丸山 俊行 | 田邊医院 |
| 金子 真奈美 | 宮島 衛 | 長岡中央病院 中央会 |
| 木島 秀人 | 森山 美昭 | にいじま耳鼻科医院 |
| 小林 矩明 | | 舞平腎友会 |
| サノヒロシゲ | | 村上病院 |
| 品田 章二 | | 明元堂眼科医院 |
| 関根 理 | | 株式会社伊藤園 |
| 曾我 秀哉 | | コカ・コーラボトラーズ株式会社 |
| 高井 和江 | | サントリービレッジソリューション株式会社 |
| 竹山 文雄 | | ほか匿名4名 |

〔法人会員/医療機関〕

- | | |
|----------------|-------------|
| アイ内科クリニック | はしもと眼科クリニック |
| あがの市民病院 | 早川小児科クリニック |
| 石黒内科医院 | 藪会 |
| 糸魚川総合病院 | ほしの医院 |
| 魚沼市立小出病院 | 舞平クリニック |
| 扇町皮膚科医院 | 松田眼科医院 |
| おおふち眼科 | 松浜病院 |
| 大洲内科クリニック | 村上総合病院 |
| 大森内科医院 | やまと日高見会 |
| 大森八千代会 | 渡辺医院 |
| 小千谷さくら病院 | 渡辺内科医院 |
| 小千谷総合病院 | |
| 小千谷総合病院 十日町診療所 | |
| 下越病院 | ほか3医療機関 |
| 柿崎総合医療センター | |
| 片桐医院 | |
| 片桐記念クリニック | |
| 川野眼科 | |
| 喜多町診療所 | |
| 木戸病院 | |
| 黒川病院 | |
| くろぎクリニック | |
| 健進会 | |
| 河渡病院 | |
| 向陽メディカルクリニック | |
| 五泉中央病院 | |
| 五泉六島クリニック | |
| こばやし内科クリニック | |
| さかいファミリークリニック | |
| 笹川医院 | |
| さど眼科 | |
| 三条眼科 | |
| 三条総合病院 | |
| 長岡蒼柴ライオンズクラブ | |
| 長岡赤十字病院 | |
| 長岡ライオンズクラブ | |
| 新潟県医師会 | |
| 新潟県医薬品配置協議会 | |
| 新潟県介護老人保健施設協会 | |
| 新潟県看護協会 | |
| 新潟県健康管理協会 | |
| 新潟県けんこう財団 | |
| 新潟県健康づくり財団 | |
| 新潟県歯科医師会 | |
| 新潟県腎臓病患者友の会 | |
| 新潟県薬剤師会 | |
| 新潟市歯科医師会 | |
| 新潟市薬剤師会 | |
| 新潟青陵大学 | |
| 新潟青陵大学短期大学部 | |
| 三浦内科医院腎臓病患者友の会 | |
| 見附市南蒲原郡医師会 | |

〔法人会員/企業・団体〕

- | | |
|----------------|--|
| 糸魚川市医師会 | |
| 柏崎市刈羽郡医師会 | |
| 柏崎薬剤師会 | |
| 柏崎ライオンズクラブ | |
| 片桐記念クリニック腎友会 | |
| 刈羽ライオンズクラブ | |
| 県中央薬剤師会 | |
| 江南警察署 | |
| 向陽会 | |
| 三条市医師会 | |
| 志賀医科器械店 | |
| 新発田北浦原医師会 | |
| 聖籠ライオンズクラブ | |
| 長岡蒼柴ライオンズクラブ | |
| 長岡赤十字病院 | |
| 長岡ライオンズクラブ | |
| 新潟県医師会 | |
| 新潟県医薬品配置協議会 | |
| 新潟県介護老人保健施設協会 | |
| 新潟県看護協会 | |
| 新潟県健康管理協会 | |
| 新潟県けんこう財団 | |
| 新潟県健康づくり財団 | |
| 新潟県歯科医師会 | |
| 新潟県腎臓病患者友の会 | |
| 新潟県薬剤師会 | |
| 新潟市歯科医師会 | |
| 新潟市薬剤師会 | |
| 新潟青陵大学 | |
| 新潟青陵大学短期大学部 | |
| 三浦内科医院腎臓病患者友の会 | |
| 見附市南蒲原郡医師会 | |
- ほか2企業・団体

個人会員	242人	867,000円
法人会員(医療機関)	69団体	760,000円
法人会員(企業・団体)	34団体	430,000円
寄付金		879,490円

新潟県ライオンズアイバンク協議会様より200,000円のご寄付をいただきました。

賛助会員の皆様、寄付者の皆様には誌上をもって深く感謝申し上げます。



—臓器移植はあなたの意思をつなぎます— 令和5年11月 第20号

新潟県臓器移植推進財団だより

発行：新潟県臓器移植推進財団 TEL.025-283-4880
新潟市中央区新光町4番地1
(新潟県福祉保健部健康づくり支援課内)

ホームページ <http://www.niigata-ot.net/>

グリーンリボンは臓器移植のシンボルマークです。

活動報告 「臓器移植フォーラム2023 in 村上」を開催しました(10月29日)

〔主催：新潟県、公益財団法人新潟県臓器移植推進財団、新潟県腎臓病患者友の会〕

より多くの人々に移植医療についての理解を深めてもらい、臓器提供について意思表示がなされることで、移植医療の推進が図られることを目的とする、毎年10月の「臓器移植普及推進月間」。今年は10月29日(日)に「村上プラザ」(村上市)にて「臓器移植フォーラム2023 in 村上」を開催しました。

今回は、通算15年目を迎えたFM-NIIGATAの特別番組「ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植 シーズンR5(増刊号)」の公開録音を実施したほか、アトラクションとして「村上CHIBI CHIBI UNITY(チビチビユニティ)」によるダンスパフォーマンスを披露していただきました。



【村上CHIBI CHIBI UNITY パフォーマンス】

今、世界で注目を浴びる新潟発のダンスグループ「CHIBI UNITY(チビチビユニティ)」の村上支部のスクールに通うキッズを中心とした「村上チビチビユニティ」。日頃のレッスンの成果を発揮していただきました。



【FM 番組公開録音】

FM-NIIGATAで毎年10月に放送している「ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植」。今年の「シーズンR5」も、ヤンさん(FM-NIIGATAパーソナリティ)とアッキー(新潟県臓器移植推進財団コーディネーター 秋山政人)の名コンビに加え、昨年に引き続き村井杏さん(FM-NIIGATAパーソナリティ)をアシスタントに迎えて放送。(*)

公開録音は、シーズンR5の「増刊号」として実施。体調考慮のため欠席となったヤンさんの代わりに、ミノルクリス滝沢さん(FM-NIIGATAパーソナリティ)を起用。アッキーと村井杏さんの3人に加え、ゲストとして新潟大学歯医学総合病院 泌尿器科 助教の田崎正行さんをお迎えしました。



＜第1パート：移植医療の基礎知識＞

「臓器移植とは?」という基本から、移植医療は第三者による提供で成り立っていること、臓器移植の現状(移植待機者や移植数)についてご紹介。

＜第2パート：腎臓移植について＞

待機数と移植数が最も多い「腎臓移植」について、専門医である田崎先生を中心にトークを展開。腎臓病の方々の生活の辛さや、腎臓移植を

受けた後に生活が激変することなどをご紹介します。

＜第3パート：意思を叶えるために＞

臓器移植医療は提供側の「取り手の医療」という側面もあります。「臓器を提供する人」と「提供者のご家族」のそれぞれの立場や気持ちがあることや、意思表示や家族で話し合っておくことの重要性、それらをくみ取ることができる医療機関側の体制づくりについて触れました。

また、当日の午前中に村上プラザで実施したアンケート(意思表示している/いないなど)の結果もご紹介しました。

＜第4パート：メッセージ紹介＞

10月に放送した番組でご紹介しきれなかったメッセージも披露。また、会場からの質問やご意見もお伺いしました。



【開会挨拶】

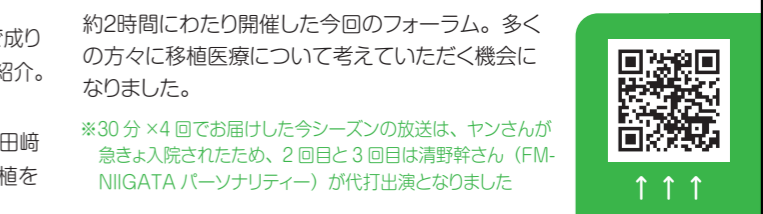
新潟県福祉保健部 健康づくり支援課 富山順子課長

【閉会挨拶】

新潟県腎臓病患者友の会 大竹勝巳会長

【大抽選会】

公開録音終了後には、来場者限定で村上牛などの特産品やFM-NIIGATA オリジナルグッズなどが当たる抽選会を開催しました。



FM-NIIGATA「ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植」は、当財団ホームページの「番組バックナンバー」ページで聴くことができます。

寄稿

「救急医療と移植医療のバトンリレー」

長岡赤十字病院 救急科
谷本 弘幸



今年の秋に放送されたFM-NIIGATAのラジオ番組「ヤン&アッキーのど〜なの？臓器移植」の出演（10月21日第3回放送）を経て、この度寄稿の機会をいただきましたので、私なりに救急医療と移植医療の繋がりについて述べさせていただきます。

新潟県は医師も看護師も足りず、かねてより医療過疎が指摘されており、また県土が広く各救命センターの距離が離れていることが特徴です。さらなる高齢化進行に伴い、直近10年は救急患者数の増加が見込まれています。

医療資源が不足する中、地域にいる重症患者を救命するための重要なバトンとして「ドクターヘリ」があります。私もフライトドクターとして重症の患者さんに早期からの医療介入を行い、状態の安定化に努めております。高度な治療が必要な重症患者さんを、適切な救命センターに搬送し、医療分配に努めるといっても、ドクターヘリは非常に重要な役割を担っていると考えます。その出勤数は新潟大学病院を基地とする東部、長岡赤十字病院を基地とする西部の2機を合わせて、年間2千件を超え、兵庫県に次ぎ全国2位まで増加しました。

救急で運ばれてくる患者さんは疾患に関わらず多種多様にわたりますが、重症患者の診療にあたる機会も少なくありません。救急医の使命として、まず目の前の患者さんを何とか救命したいと尽力いたし

ますが、当初から救命が難しい事例や、結果的に救命が叶わない事例があります。予後不良となった場合、患者さんの望む「最期」に寄り添い、看取りの医療へ移行しますが、救急医が責任を持って引き続き携わることとなります。その経過の中で脳死が疑われる状態となった際、脳死下臓器提供の意思を有する可能性のある患者さんであれば、臓器提供を含めた選択肢を提示します。

若輩者ながら、今年主治医として初めて臓器提供のドナーとなった患者さんを担当させていただきました。不安定な全身状態の管理や脳死判定の経過、そして選択肢提示やグリーフケア（心のケア・寄り添い）をはじめとした、患者さんとご家族と寄添う看取り医療まで、上級医の先生方と協力しながら貴重な経験をさせていただきました。患者さんご本人は亡くなってしまいましたが、誰かの中で生き続けることで命のバトンが繋がっているということ、この事例から勉強させていただきました。

今後とも救急医としての勤務が続きますが、まずは新潟県だから、医療過疎地域だから救命できなかったという事例を少しでも減らすことを目標に尽力していきます。そして予後不良となった患者さんに対して、救急医として少しでもその患者さんの望む「最期」に寄り添い、臓器提供の希望があれば叶えられるよう日々努力していきたいです。

コラム

「新潟県の臓器提供推進活動
～官民一体の活動を振り返る～」

新潟県臓器移植推進財団 コーディネーター
秋山 政人



過日、10月29日の新潟日報1面に「脳死判定千例目」という見出しとともに、本県が人口100万人換算で本邦最多の脳死臓器提供者数を示すデータが付随していました。それも26年間の累計としての数字でありました。

これは公益社団法人日本臓器移植ネットワークの発表をもとに全国に配信された数字ですが、新潟日報の記者さんから「なぜ新潟県の臓器提供が多いのか」との質問に、私は「ご本人のご意思を訊く体制が救急施設にある」「急な出来事を受け止めなくてはならない、辛い思いをされているご家族に対する心のケアをいち早く取り入れた医療機関が当県には多い」という旨を答えました。しかし新聞では、そのことがどのようになされてきたかまでは書けないこともあるので、本誌紙面を借りて本県での歩みを簡単に紹介したいと思います。

新潟県での普及啓発は、1999年から本格的に始まり、県民への啓発と同時に、県内の医療機関において臓器提供意思を尊重できるような体制づくりをしていただくよう、医療機関に足跡に通り、特に

救急の先生方や看護師さんたちと学習会を重ねてきました。当県の特徴である「官民一体の活動」がこの仕事を支えております。振り返れば、訪問をした医療機関の数は多い年で年間270回を超えていたと日誌には記録されております。

医療機関訪問の趣意は単に臓器提供者を増やすことではなく、医療者にとっても、患者・家族にとっても満足いく治療があり、そして残念ながら終末期を迎えた患者・家族のLiving Will（生前の意思）実現を無理なく行える環境作りを心掛けてまいりました。特に看取りの希望が臓器提供であれば、最良の環境で希望を叶えて差し上げることができ体制を構築するよう医療機関の皆様と学習を重ねてきたことが新潟県の特徴でもあります。

新潟県は皆様の臓器提供意思を十分に尊重できる環境が整いつつある県と言えます。今一度臓器提供について見つめていただき、提供意思を健康保険証や運転免許証、マイナンバーカード、そして臓器提供意思表示カードや献眼カードにお示しいただければ幸いです。

データ

数字で見る臓器提供および移植の状況

● 献腎提供者・献腎移植者・献腎待機者の状況

令和5年3月31日現在（人）

年度		H30	R1	R2	R3	R4
		献腎提供者	全国 99	111	65	79
	新潟	3	9	3	5	7
献腎移植者	全国	192	216	127	148	215
	新潟	2	9	1	6	6
献腎待機者	全国	12,150	12,505	13,163	13,738	14,080
	新潟	199	187	197	204	200

※日本臓器移植ネットワークホームページより集計
※献腎待機者については年末締め

● 新潟県の検眼登録者・献眼者・待機者の状況

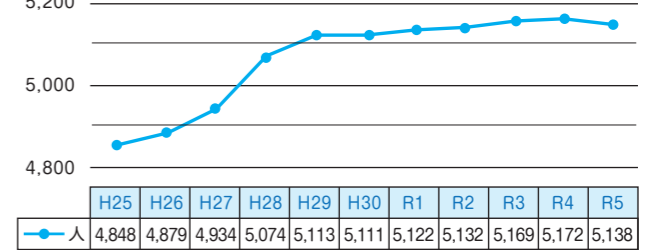
令和5年3月31日現在（人）

年度	H30	R1	R2	R3	R4
献眼登録者	128	90	39	105	108
献眼者	5	12	5	7	4
献眼待機者	35	19	21	19	31

参照：新潟県「人工腎臓透析実施状況調査」

● 新潟県の透析患者の状況

令和5年6月19日現在（人）



参照：新潟県「人工腎臓透析実施状況調査」

臓器提供の意思を表示しましょう

健康保険証や運転免許証、マイナンバーカードにも意思表示記入欄があります。臓器提供の意思表示にご協力ください。



公益財団法人新潟県臓器移植推進財団 役員名簿 (令和5年6月1日現在)

■理事長 成田 一衛【新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎・膠原病内科学（第二内科）教授】	■評議員 牛木 辰男【新潟大学 学長】 富田 善彦【新潟県病院協会 会長】 黒澤 史門【新潟大学大学院医歯学総合研究科 眼科 専任助教】 高井 和江【新潟県医師会 理事】 川崎 禎之【長岡赤十字病院 院長】 斎藤 有子【(公社)新潟県看護協会 会長】 中田 泰範【新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 理事長】 塚田 芳久【新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事 理事長】 森澤 真理【新潟日報社 説話編集委員 室長】 田中 利夫【日本文理高等学校 校長】 園田 裕久【新潟県村上保健所長】 田中 昌直【新潟県市長会 事務局長】 渋谷 聡【新潟県町村会 事務局長】 石田 芳英【株式会社石田工業 代表取締役 (新潟移植者の会)】
■副理事長 福地 健郎【新潟大学大学院医歯学総合研究科 眼科学分野 教授】	■顧問 高橋 公太【新潟大学医学部名誉教授】
■常務理事 齋藤 和英【新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 准教授】	
■理事 木下 義晶【新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児外科分野 教授】 大谷 哲也【新潟県医師会 理事】 吉澤 豊久【新潟県眼科医会 会長】 青池 郁夫【新潟県透析医会 会長】 鈴木 榮一【魚沼基幹病院 病院長】 山口 征吾【魚沼基幹病院 地域救急救命センター長】 宮本 豊博【日本赤十字社 新潟県支部 事務局長】 佐藤 義尚【新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 理事】 大竹 勝巳【新潟県腎臓病患者友の会 会長】	



グリーンリボン
キャンペーンの天使
ハーティ

寄付型自動販売機の設置にご協力ください

飲料の売上の一部が団体の活動資金として寄付される自動販売機です。寄付金は、移植医療の普及啓発のために大切に活用します。



※画像はイメージ
寄付型自動販売機の設置に関するお問い合わせは…
特定非営利活動法人寄付型自動販売機普及協会
フリーダイヤル 0120-937-650 まで

- 寄付金の振込は自販業者が行うので、**手間や費用は一切かかりません。**
- 飲料 1本あたりの**寄付金は任意に設定**できます。
- **寄付金控除**の対象となります。
- **設置・置き換えは無料**です。また、売上に応じて**販売手数料**をお受け取りいただけます。

企業のCSR活動や、個人の社会貢献活動の一環として、ぜひご検討ください。

財団の活動・運営にご協力ください

当財団では、一人でも多くの患者さんが移植を受けられるよう、県、市町村、患者団体等と連携し、臓器移植に関する知識の普及啓発等に取り組んでまいりました。
財団の活動は基本財産の運用益と皆様からの善意の賛助会費や寄付金で行っております。財団の安定的な活動・運営のため、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

賛助会費加入 および 寄付の方法	賛助会費（年会費）	法人 10 10,000円 個人 10 1,000円
	郵便振替の場合	口座番号 00500-4-76919 公益財団法人 新潟県臓器移植推進財団
	銀行振込の場合	第四北越銀行 新潟県庁支店 普通口座 237932 公益財団法人 新潟県臓器移植推進財団

※当財団に賛助会費や寄付金を納められた方は、税額控除されます。領収書が必要な方はご連絡ください。